

# 目 次

<b>第1章 計画の概要</b> . . . . .	1
1 計画策定の趣旨 . . . . .	1
2 計画の位置付け . . . . .	2
3 計画の期間 . . . . .	3
<b>第2章 広島県における消費生活の現状と課題</b> . . . . .	4
1 これまでの取組 . . . . .	4
2 消費者を取り巻く現状と課題 . . . . .	6
（1）社会経済情勢の変化 . . . . .	6
ア 高齢化の進展	
イ 成年年齢の引下げ	
ウ 地域コミュニティの衰退	
エ 在留外国人の増加	
オ 取引形態の多様化	
（2）広島県における消費生活相談体制の状況 . . . . .	10
（3）広島県における消費生活相談の状況 . . . . .	12
ア 相談件数	
イ 契約当事者の年齢	
ウ 相談内容	
エ 年代別の傾向	
（4）広島県における事業者指導等の状況 . . . . .	17
（5）広島県における消費者教育の状況 . . . . .	19
ア 消費者教育推進法の施行	
イ 広島県の状況	
<b>第3章 計画の基本的な考え方</b> . . . . .	22
1 基本理念 . . . . .	22
2 基本的方向と施策目標 . . . . .	22
3 5年後の広島県の姿 . . . . .	23
4 重点的に取り組む項目 . . . . .	23

<b>第4章 施策の展開</b>	24
<b>基本的方向Ⅰ 消費者被害の防止と救済</b>	24
<b>施策目標1 消費生活相談体制の充実</b>	25
<b>施策目標2 外国人・高齢者等への支援</b>	31
<b>施策目標3 事業者指導の強化</b>	36
<b>基本的方向Ⅱ 消費者の選択の機会と安全・安心の確保</b>	39
<b>施策目標4 商品・サービス・食品の安全性の確保</b>	40
<b>施策目標5 事業者の適正な情報提供と消費者の選択機会の確保</b>	43
<b>基本的方向Ⅲ 消費者教育の推進</b>	46
<b>施策目標6 様々な場における消費者教育の推進</b>	48
<b>施策目標7 消費者教育推進のための人づくり</b>	57
<b>施策目標8 消費生活と関連する他の教育との連携推進</b>	60
<b>基本的方向Ⅳ 県民意見の反映と多様な主体との連携・協働</b>	63
<b>施策目標9 消費者行政への県民意見の反映</b>	64
<b>施策目標10 関係機関等との連携・協働</b>	66
<b>重点的に取り組む項目</b>	70
<b>重点項目1 県・市町の消費生活相談窓口体制の見直し</b>	71
<b>重点項目2 外国人や高齢者等の配慮を必要とする人への支援の強化</b>	73
<b>重点項目3 自立した消費者となるための消費者教育の推進</b>	77
<b>第5章 計画の推進体制と進行管理</b>	81
1 推進体制	81
2 進行管理	81
<b>広島県消費者基本計画（第3次）の施策体系</b>	82
<b>参考資料</b>	83
広島県民の消費生活の安定と向上を促進する条例	84
消費者行政をめぐる国と県の動き（年表）	89
策定経緯	92